


令和元年 6 月 14 日

公立大学法人 都留文科大学  
理事長 横内正明 殿

監事 渡辺和廣 

監事 宮本和之 

## 監 査 報 告 書

公立大学法人都留文科大学監事監査規程第 3 条及び第 5 条第 1 項の規定に基づき、令和元年 6 月 6 日、13 日に公立大学法人都留文科大学の平成 30 年度下半期における業務の執行について定期監査を実施したので、同規程第 10 条第 1 項により、その結果を下記のとおり報告いたします。

### 記

#### 1. 監査方法の概要

都留文科大学において関係職員から業務の執行状況について報告を受け、提出された監査調書等により監査を実施しました。帳票その他証拠書類の原本及び現物の照合確認並びに担当者からの概況聴取・質疑応答などの方法により実施いたしました。

会計監査については、財務諸表(貸借対照表、損益計算書、合計残高試算表)などを確認するとともに、事業年度内の特徴ある取引については、関係書類・帳票等の提示を求め、関係部署の担当者から説明を聞くなどの手続きを実施して会計監査を行いました。

業務監査については、中期計画に掲げられている 122 項目に対応した年度計画 173 項目の進捗状況等を中心に、監査を実施しました。

#### 2. 監査結果の概要

業務の執行は、適正に行われていると認められる。年度計画の進捗についても概ね順調であると認められる。

#### 3. 是正又は改善を要する事項

##### (1) 会計監査

##### ① 経常費用と授業料収益について

平成 30 年度の経常費用は 31.1 億円で前年度から 1.6 億円増加している。一方、授業料収益は 17 億円で前年度から 4 百万円の増加に留まっている。

経常費用の増加率が授業料収益の増加率を大きく上回っていることに留意しておく必要がある。

② 教育経費について

平成 30 年度は 7.8 億円で前年度より 1.0 億円増加している。主な増加項目は 2 号館外壁改修工事費 0.6 億円である。施設の老朽化に伴い、今後も維持修繕のためのコストが増えていくと思われるが、節約できるところは節約していくという姿勢を維持していただきたい。

③ 一般管理費について

平成 30 年度は 1.7 億円で前年度より 0.5 億円減少している。今後も節約できるところは節約していくという姿勢を維持していただきたい。

④ 未収学生納付金について

平成 29 年 3 月末の残高が 6,500 千円、平成 30 年 3 月末の残高が 5,989 千円、平成 31 年 3 月末の残高が 4,687 千円で残高は減少している。今後も滞納の発生防止に努めていただきたい。

(2) 業務監査

① 6 年間の第 2 期中期計画の後半に入った最初の年度で、概ね達成となる 3 点以上の評点が占める割合が 86.1%と前年を上回っており、大幅な改善が認められ、中期計画の進捗状況も良好と評価できる。

② 入学志願者の確保は、この少子化の時代で大変な事と思うが、高校訪問を含め努力されていることは、志願者数の目標を概ね達成されている結果からみても認めることができる。訪問校を志願者数との関連等についてデータ分析などからより効果的な方策を考えて取り組まれることを希望します。

③ 大学で学ぶ上でも、また、社会に出てからも今後情報処理能力はますます重要になるので、Word 等の受講者を増加させるため、より学生が参加しやすい日程を組んだり、開催回数を増やすなどの工夫をし、実績があがることを期待します。

④ 外国語各種試験の受験者数について、受験対象学年の見直し等で増加したことは良かったと思います。引き続き努力され成果があがることを期待します。

⑤ 「社会との連携や社会貢献に関する目標を達成するための措置」について 3 点以上の評点が占める割合が 90%で前年より大幅に上昇したことを評価します。更なる拡大が望まれます。

⑥ 専攻科の志願者の少ない理由について分析し、改善できるよう望みます。

⑦ ラーニングコモンズとしてのスペースの拡張を期待します。

⑧ 施設の市民への開放について、大学に対する理解を深め、協力をいただく意味もあり、市民の利便性のためにも引き続き努力をお願いします。

以上